

HOTキラリ

2010年
10月号
10月~2011年1月
Vol.30

特集 | 劇場で、出会う。 |

- キラリと世界で創る芝居vol.2『フランス』世界は踊る~ちいさな経済のものがたり~ 出演者インタビュー
- キラリンク☆カンパニー(東京デスロック、モモンガ・コンプレックス、田上バル) 活動報告 & 公演案内



“芸術監督とキラリな人”

02 寺田奈美さん

毎号、芸術監督多田淳之介が『市民ひとりひとりを見つめたい』というテーマでキラリ☆ふじみと縁(ゆかり)のある富士見市民の方々に市内の様々な場所でお会いしてお話を伺うコーナー。

第2回目は2005年に市民参加ミュージカル『アンテレセン☆ストーリー』に親子で出演以来、夏休みの子供演劇ワークショップなどキラリ☆ふじみを身近に親子で楽しんでくれているという、四姉妹の母であり保育士として地域の子育てにも携わる寺田奈美さんにキラリ☆ふじみでお話を伺いました。

撮影／三井義雄

富士見市で育ち、現在は四姉妹の母であり、保育士として子育て支援に携わる寺田さん。「色々なお母さんの相談にのっていますが、今は核家族が当たり前になり、ひとりで悩みを抱えてしまいがちなお母さんにとって、地域の中に居場所があることがとても大切なんです。」と、日頃から地域の“人の繋がり”的必要性を感じることは多い。母娘で参加した市民ミュージカルを振り返ると、普段は接することの少ない世代の違う地域の人たちとの出会いが、自分も色々な人達が暮らす地域の中で存在しているということを改めて確認させてくれたという。その後もメンバーとの交流は続き、「学生時代から芸術が好きで劇場にはよく足を運んでいましたが、市民ミュージカルでの出会いが地域の繋がりになったことで、今では地域の出会いの場としてキラリという劇場を身近に感じています。」と話してくれました。芸術を通じて人ととの出会いを生む劇場として、これからもキラリ☆ふじみは地域の未来作りに参加していきます。

